

マテリアリティとKPI

マテリアリティの解決に向け、33個のKPI（全社）に対し具体的なKPIと数値目標を設定しました。主要なものを掲載しています。

No.	マテリアリティ	マテリアリティの解決手段	KPI（全社）	具体的なKPI	数値目標	2023年度実績
1	安心でき、 活力がわく 社会の実現 7 7 7 7 9 9 9 9 11 11 11 11 12 12 12 12 13 13 13 13 14 14 14 14 15 15 15 15	社会基盤整備を通して培った強みを基に、多様な能力を結集した新たな価値創出	強みを活かした案件の拡大	企画提案型建設の取り組み件数 東南アジア、南西アジアのODA地下鉄工事受注件数	3件 / 年 3件（2025年度まで）	3件 1件
			社内での事業連携	新規事業（AVA・RES）と建設事業（土木・建築・国際）事業の連携案件数	13件（2030年度まで）	—
		環境にやさしい レジリエントなまちづくり	環境性能の向上	・中高層木造建築の取り組み ・ZEBの設計技術の進化 ・保有物件の再エネ化	・木造建築取り組み件数2件以上 / 年 ・ZEB取り組み件数2件以上 / 年 ・100%（2030年度）	・木造建築1件 ・ZEB取り組み6件 ・—
			国土・まちの強靱性の向上	国土・まちの強靱性の向上に向け、各事業本部において具体的なKPIおよび数値目標を設定し取り組みます。		
		地域・顧客の想いをつなぎ、人々の活力が生み出される地域やコミュニティをつくる	地域の活性化に資する開発・事業等	まちづくり事業モデルの構築	3件（2025年度まで）	0件
			安定した受注	安定した受注に向け、各事業本部において具体的なKPIおよび数値目標を設定し取り組みます。		
		事業活動を通じた環境・生物多様性保全、サークキュラーエコノミーの実現	脱炭素社会の形成促進	<ZERO30ロードマップ2023> ・あらゆる事業活動のスコープ1+2の2020年度比削減率 ・竣工引渡建物運用段階におけるCO ₂ 排出量の削減（スコープ3カテゴリー11）の削減率 ・再生可能エネルギー事業の発電量（創エネ売電量）	・2020年度比54.8%削減（2030年度） ・2020年度比27%削減（2030年度） ・108千MWh（2030年度）	・2020年度比41.6%削減 ・2020年度比47.6%削減 ・0.8千MWh
			生物多様性への配慮、自然との共生	生物多様性保全活動実施数	全現場にて実施（2030年度時点）	全現場
			循環型社会の形成促進	最終埋立処分率	2.5%未満（2030年度時点）	2.1%
		2	現場力を 最大限発揮できる 組織づくり 8 8 8 8 9 9 9 9 11 11 11 11	信頼される現場力を高め続けられる組織の構築	技術の継承	スタンダードコース（若手社員専門力養成）修了認定率
現場の省力化	現場のDX推進度				DXエンゲージメント（DX推進アンケート）前年度比5%向上（2024年度）	2.71点
お客様満足度の向上	施主からの評価				・国土交通省工事の工事成績評定点対象年度平均点（80点以上 / 対象年） ・民間工事竣工時アンケート評価 S・A評価を97%以上獲得	・78.3点 ・98.2%
現場支援体制の充実	各事業本部において具体的なKPIおよび数値目標を設定し、現場支援体制の充実を図ります。					
個々の現場の知を組織の知へ	組織知化の進展			・建物用途別のディテール集の整備 ・日本人1人あたり出来高の増加 ・人財データ可視化進捗率	・建物用途別ディテール集の整備 2回 / 年更新 ・日本人1人出来高/8.0億円（海外土木）、22億円（海外建築）（2030年度まで） ・100%（2025年度）	・2回 / 年更新 ・— ・36%
				技術研究所による技術的ステータスの目標達成数 ・プレス発表 ・特許出願 ・学会発表 ・外部機関からの技術賞受賞	・24件 / 年 ・15件以上 / 年 ・筆頭著者として1編以上 / 人・年 ・2件 / 年	・24件 ・36件 ・1.13 編 / 人・年 ・1件
	ナレッジデータ活用、施工管理DX			DXビジョン施工管理DX施策（暗黙知のナレッジ化）の進捗	2プロジェクト / 年	2プロジェクト
3	価値創出を 最大化できる パートナーシップ の形成 8 8 8 8 9 9 9 9 10 10 10 10 11 11 11 11 17 17 17 17	持続可能なサプライチェーンの構築	人権デューデリジェンスの継続的な実施	人権デューデリジェンスの実施企業数	400社以上実施	2024年度実施
			建設技能労働者の育成サポート	・西松マイスターおよび上級職長の現場就労率 ・建設キャリアアップシステムのタッチ率	・60% ・90%（2025年）	・60.1% ・61.1%
			協力会社との連携	・Nネット発注率 ・協力会社満足度調査「調達ガイドライン」に関するアンケート調査の実施	・60%以上 ・400社実施	・59% ・2024年度実施
		新たな価値創出に向けた地域、企業との連携	地域との連携	・自治体との包括連携協定 ・新たな市場における売上確保	・3件（2025年まで） ・売上規模50億円 / 年（2030年度まで）	・0件 ・0件
			異業種との連携	M&Aによる新しい事業組織の組成	建設請負工事開始（2028年度より）	0件

No.	マテリアリティ	マテリアリティの解決手段	KPI (全社)	具体的な KPI	数値目標	2023年度実績
4	安心とワクワクにつながる技術戦略   	技術開発・技術活用による施工の効率化	技術開発による施工の効率化	生産性向上 (トンネル工事の自動化・無人化技術等) ほか、社会・現場に寄与する技術の開発	10技術以上/年	21技術
			技術活用による施工の効率化	- 各フェーズでの BIM 導入率 - BIM 活用パッケージ導入数	- 各フェーズでの BIM 導入率 - 設計フェーズ S 造物流100%、RC 住宅100% (2027年) - 生産設計フェーズ S 造物流100%、RC 住宅100% (2027年) - 施工フェーズ 全現場数の65% (2027年) - BIM 活用パッケージ導入数 360/パッケージ (2027年)	- 設計フェーズ S 造物流100%、RC 住宅66% - 生産設計フェーズ S 造物流44%、RC 住宅7% - 施工フェーズ 全現場数の40% 0/パッケージ
				保有 (開発) 技術の現場活用	50技術以上/年	75技術
		未来を見据えた技術開発	DX 技術開発	DX ビジョン (スマート現場) 各施策の進捗 ・設計、計画 DX ・施工管理 DX ・施工 DX	プロジェクト数 (2プロジェクト/年)	2プロジェクト
				技術開発ロードマップに従った DX 技術 (省人化・生産性向上) 開発目標の達成度	平均開発目標達成度 70%	目標達成率 97%
			防災・減災・リニューアル工事に資する技術開発	技術開発ロードマップに従った防災・減災・リニューアル工事に資する技術開発目標の達成度	平均開発目標達成度 70%	目標達成率 87%
5	多様な人材がワクワクし活躍できる仕組みづくり      	みんなが働き甲斐をもって力を発揮できる職場環境の提供	多様な人材の活躍	- 女性の採用比率 - 女性管理職比率	・20% 以上 (2025年度) ・2.0% 以上 (2025年度)	・17.6% ・0.4%
			多様な人材を活かす施策の実行	- 男性育児休業取得率 (育児目的休暇含む) - 上司部下間の対話実施率 - DX ビジョン (ワークスタイル) 施策の進捗	・100% (2024年度以降) ・100% (2024年度) ・5プロジェクト/年	・75.8% ・今後実施 ・5プロジェクト
			社員がいきいきと活躍できる状態	- 社員のエンゲージメントスコア - ストレスチェックの高ストレス者率 - 定期健康診断後の精密検査受診率 - 離職率	・3.68 以上 (2024年度) ・9.0% 以下 (2024年度) ・80% (2025年度) ・1.5% 未満 (2025年度)	・3.68 ・9.09% ・61.1% ・2.99%
			労働環境改善の推進	度数率	0.4 以下 (2025年) ・0.2 以下 (2030年)	0.67
		組織横断的な思考の浸透	組織横断・連携マインドの醸成	連携事業への従事や挑戦を賞賛する表彰制度の創設	2025年度から実施	—
			組織横断・連携の仕組みづくり	組織横断、連携を評価する仕組みの構築	2025年度から実施	—
6	コンプライアンスの遵守  	リスク管理体制の強化	リスク管理体制の強化	- 情報リスクに対するセキュリティ対策の実施 - リスク・機会マネジメントの有効性 - BCP 訓練	・重大なインシデント (レベル2以上) の発生無し ・重大なコンプライアンス違反の発生件数0件 ・安否確認訓練応答率平日昼間: 3時間以内90%、休日夜間: 6時間以内90%	・セキュリティインシデントレベル2が1件 ・重大なコンプライアンス違反の発生件数0件 ・平日昼間3時間以内の安否確認応答率92%
		コンプライアンス教育の充実と継続	コンプライアンス教育の充実と継続	コンプライアンス研修受講率	100%	100%